

【2023 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
整形外科学		(理.作) 必修 (福.人) 選択	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
山本 泰宏	C304	yasuhiro_yamamoto	Teams で質問等受付		
授業の目的・概要	<p><目的>運動器疾患の病態を理解して、理学療法および作業療法における評価、治療方針作成の基礎的知識と思考方法を学ぶ。</p> <p><概要>Teams による同時双方向型遠隔授業を行う。最初に炎症、神経損傷、関節と脊椎の退行性変性の病態とその治療原理・原則を講義する。これらの知識を基に、そこから発展的に各種疾患および外傷の病態と治療戦略の原理・原則について教員の 30 年以上の実務経験で記録したスライド、動画を示して実践的な講義を行う。</p>				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	講義を理解するには解剖学、生理学、運動学の知識が必須である。事前学習内容を参考にして予習課題を行うこと。予習課題は提出する必要はないが、行ったことを前提として講義を行なう。				
教科書	「標準理学療法学・作業療法学」 第 5 版 著：立野勝彦 出版社：医学書院				
参考書	「標準整形外科」第 15 版 医学書院				
外部教材	使用する予定はない				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	運動器に生じた病理学的異常と症候の関係を説明できる。			HSU(1)、(2)、(3)、PT(2)、(3)、OT(1)、(2)	
②	理学療法士、作業療法士として対応する主要な疾患の特徴と治療方針を説明できる。			HSU(1)、(2)、(3)、PT(2)、(3)、OT(1)、(2)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	【関節リウマチ】関節の基本的構造を復習する。炎症について病理学的に復習する。関節リウマチの病因、病態、特徴的症候、検査所見、治療方法を学ぶ。	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P5~8, P61~64 を読んで、予習課題を行う。	4	
2	【変形性関節症】変形性関節症の病因、病態、特徴的症候、検査所見、治療方法を学ぶ。	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P72~73 を読んで予習課題を行う。	4	
3	【末梢神経障害 1】末梢神経の解剖、生理を復習する。末梢神経障害により生じる症候を学ぶ。	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P143~145, P149~150 を読んで予習課題を行う。	4	
4	【末梢神経障害 2】橈骨神経、正中神経、尺骨神経障害の特徴的症候と治療方法を学ぶ。絞扼性神経障害を学ぶ。	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P146~147, P148~149 を読んで予習課題を行う。	4	
5	【末梢神経障害 3】腕神経叢損傷、胸郭出口症候群と腓骨神経損傷の特徴的症候と治療方法を学ぶ。	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P145~146、P147、P148 を読んで予習課題を行う。	4	
6	【脊椎の変性疾患と神経根障害】脊髄症と神経根症を説明できる。頸椎椎間板ヘルニアと腰椎椎間板ヘルニアの特徴的症候と治療方法を学ぶ。	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P100~103 を読んで予習課題を行う。	4	
7	【脊椎の変性と脊髄・馬尾障害,その他の脊椎疾患】腰部脊柱管狭窄症の病態、特徴的症候と治療方法を説明できる。馬尾症候群を学ぶ。腰椎分離症、腰椎圧り症を学ぶ。	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P103~106、P162 を読んで予習課題を行う。	4	
8	【その他の脊椎疾患】後縦靭帯骨化症、側弯症などを学ぶ。	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P106~110、P109~110 を読んで予習課題を行う。	4	
9	【小児の運動器疾患 (骨端症、先天性股関節脱臼、先天性内反足、筋性斜頸)】小児運動器疾患の病態と特徴的症候、治療方法を学ぶ。	講義 (同時双方向型遠隔授業)	教科書 P77~80、P82~86 を読んで予習課題を行う。	4	

【2023 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

10	【関節軟部組織の外傷（捻挫、脱臼、膝内障）】捻挫と脱臼の違いとその治療法を説明できる。膝関節軟部組織損傷の特徴的症候と治療方法を学ぶ。	講義（同時双方向型遠隔授業）	教科書 P139～142、153～154 を読んで予習課題を行う。	4
11	【その他の疾患と外傷】手屈筋腱損傷、アキレス腱損傷、腱板損傷、上腕骨外側上顆炎などの特徴的症候と治療方法を学ぶ。	講義（同時双方向型遠隔授業）	教科書 P67、P162、P151～152、P154 を読んで予習課題を行う。	4
12	【骨折総論】骨折の分類、修復過程、治療方法、合併症を学ぶ。	講義（同時双方向型遠隔授業）	教科書 P115～121 を読んで予習課題を行う。	4
13	【骨粗鬆症と骨折】骨粗鬆症の病態と治療目的を学ぶ。骨粗鬆症によって生じる上腕骨近位端部、橈骨遠位端、大腿骨近位部、脊椎椎体骨折とその治療方法を学ぶ。	講義（同時双方向型遠隔授業）	教科書 P71～72、122～124、126～129 を読んで予習課題を行う。	4
14	【四肢・体幹の骨折】主要な骨折とその特徴を学ぶ。	講義（同時双方向型遠隔授業）	教科書 P121～132 を読んで、予習課題を行う。	4
15	【脊髄損傷】脊髄損傷の原因、病態、特徴的症候を学ぶ。	講義（同時双方向型遠隔授業）	教科書 P133～138 を読んで、予習課題を行う。	4
試	筆記試験を行う。			

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	0
総合力指標	知識・技術力	85	0	0	0	0	85
	思考・推論・創造する力	15	0	0	0	0	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	筆記による定期試験を実施して評価する。定期試験では予習課題、講義内容、教科書の記述の理解度を問う問題を出題する。				正解を公開し、答案を返却する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	整形外科医として 37 年の実務経験を有する、日本専門医機構整形外科専門医						
実践的授業の内容	実際に経験した患者の症候、治療について診療の現場で撮影した写真、動画を授業中に使用して説明する。						
そ の 他	予習課題は原則として講義の前々日までに Teams にアップする。 ハウリングを避けるためマイクのミュート、通信料削減のためカメラオン/オフの方法は確認しておくこと。授業中はチャットで随時質問を受け付ける。質疑応答は音声通話で行うこともある。 授業内容は原則として録画する。受講中にパソコンの不調、通信回線の不具合等で受講ができなくなった場合は後日 Stream で視聴すること。質問は Teams のチャットまたはメールで随時受け付ける。必要があればオンライン対応を行う。 コロナウィルス感染症の流行の状態によっては授業方法の変更があり、シラバスが改訂される可能性がある。						